

松江市 報道提供資料

令和6年5月22日

件名 令和6年度 市民憲章善行者表彰式の開催について

内容 市民憲章に掲げる5つの理念である「きれいな」「住みよい」「希望あふれる」「心ゆたかな」「活力ある」まちづくりに貢献されている団体(3団体)、個人(5名)の表彰式を開催する。
市長(松江市市民憲章推進協議会名誉会長)より、各受賞者に表彰状の授与を行う。

○表彰式

【日 程】 令和6年5月28日(火) 午前10時00分～11時00分

【会 場】 松江市役所 新庁舎3階 第1常任委員会室
(記念撮影は4階市長室へ移動して実施)

【式 次 第】 1 開式

2 受賞者紹介

3 表彰状授与

4 名誉会長あいさつ (松江市長 上定昭仁)

5 閉式

6 記念撮影

【受 賞 者】 別紙のとおり

【問い合わせ】

総務 部 総務 課 担当：黒田

電話：0852-55-5112

次 第

- 1 開 式 10:00
- 2 受賞者紹介
- 3 表彰状授与
- 4 名誉会長挨拶
松江市長 上定昭仁
- 5 閉 式
- 6 記念撮影 10:30

【団体の部】

(順不同・敬称略)

国屋上 おもと会 (城西地区)

平成17年から市道比津国屋線及び北松江西生馬線において、登校する小学生や中高生に対し、安全に通学できるよう見守り活動や挨拶の声かけを行っている。当初は正副会長で始めた活動であったが、協力する会員が増え、現在12名で活動し、内中原小学校PTAにも声をかけ、たくさんの保護者も交代で参加するようになっている。

交通量が多く、危険度の高い市道で見守り活動を継続し、こどもたちは市道の横断も含め安全な登校の仕方を身につけていくことができ、同時に挨拶の声かけを通して顔馴染みになり、主体的に挨拶できるこどもも増えて気持ちのよい交流の輪が広がっている。加えて、通行車両の運転手への注意喚起にもつながっている。

八束・花 と緑 の島 づくり協議会 (八束地区)

平成16年から八束町にて活動を始め、毎年4月からの「八束花いっぱい運動」を展開するなど、年間を通じて現在22名で町内での花づくり支援活動に取り組んでいる。

県内外の多くの車両が往来する大根島中央幹線道路沿いの遊休農地を積極的に活用し、花の種まき・苗植えをするなど、四季を通じて八束町内を美しい花々で見る人の心を和ませ、きれいなまちづくりに貢献している。

また、協議会員が町内の全17区画の圃場を管理し、夏・秋に開花する草花の植栽や、八束学園、一般家庭や個人が実施する花づくりへ資材や種の無料配布等の支援にも貢献している。

【団体の部】

忌部 ^{いんべ} 「こうみんかん喫茶」 ^{きっさ} (高齢者クラブ連合会)

令和元年から現在まで、忌部公民館の和室で7名の方々がパン、手料理、コーヒーを提供し、高齢者を中心に20～70名の来店者が集っている。

この集いではピアノコンサートなど毎月いろいろなイベントも開催され、人々の笑いや交流で賑わっている。提供されるメニュー食材も会員考案の食品が提供され、部屋の飾り付けも季節の草花で彩られている。高齢者だけでなく、幼稚園児や福祉施設利用者も参加するなど、忌部地区では必須の喫茶になっている。

【個人の部】

(順不同・敬称略)

^の野津 ^{くにお} 邦雄 (法吉地区)

平成16年から法吉公民館文化サークル陶芸教室の講師として地域住民が陶芸に触れる機会を積極的につくり、陶芸の楽しさや、面白さ、技術を地域住民に伝承している。

熱心な指導により、受講者の中には松江市民美術展で入選し、指導者になれるほど技術を習得した方もいる。法吉子ども広場では、技術の伝承とともにものづくりの楽しさも教え、法吉小特別支援学級の児童にはひとりひとりに寄り添い、それぞれの想像力を引き出しすばらしい指導をしている。高齢になられた現在も元気で益々意欲的に指導している。

^{あだも}安達 ^{しんや} 真也 (鹿島地区)

恵曇公民館長、恵曇自治会副会長など多数の役職を歴任され、現在では平成22年から鹿島地区健康まつえ21推進隊隊長を務めている。活動としては10年以上、グラウンドゴルフ大会の開催に尽力し、地区内だけでなく、他地区と合同で開催することもあるほど、地域のつながりに貢献している。

また、小学校の通学路で声かけ事案があった際には、防犯カメラの設置に尽力され、安心安全な鹿島町の実現に向け、地域には欠かすことのできない方として多くの住民からの信望を集めてきた。困り事や相談にも気軽に応じられてきた体现者として貢献している。

【個人の部】

みやうち としお 宮内 敏夫（乃木地区）

32年間にわたり、ボランティア活動の一環として、スポーツ少年団「乃木ライオンズ」の指導者兼代表を務め、今もなお乃木小学校1年生から6年生までの子どもたちに対し、野球を通して技術・学力向上を図り続けている。

平成10年頃にはジュニアの選手だけで、40名から50名の大所帯であったが、現在は少子化とともに野球離れが多くなり、苦慮している。だが、今もなお野球だけでなく礼儀・挨拶など、楽しく元気に協調性を養っていけるように指導を続け、希望あふれるまちづくりに貢献している。

おす が やすとみ 小数賀 安富（法吉地区）

比津町自治会長、法吉地区自治会連合会長を歴任され、その職を退かれた今も、十数年に亘って地元比津町の発展・親睦・美化のために献身的に尽力している。

洪水を繰り返す比津川の動画を撮影し河川工事の必要性を訴え続け、監視カメラ等の設置に大きく貢献している。また、水害時には床上浸水した住宅に、いち早く駆けつけて家財の二階への運び上げなど労を惜しまず実行している。

また、町内の環境保全に努め、公共的場所の草刈り伐採を実施され、令和6年度は環境保全部なる組織を立ち上げ、年齢的に除草等が困難な高齢者宅の除草等も積極的に支援することを目指している。

老若男女幅広い親睦を深めるため、ユニークなアイデアを具現化し、年末には高齢者宅に年越し蕎麦として、子ども会のこどもたちと一緒に配って回る等の活動を十数年続けている。

いのうえ けいじ 井上 啓史（大庭地区）

こどもから高齢者まで大庭地区の住みよいまちづくり・希望あふれるまちづくりに十数年寄与している。平成28年からなないろ食堂、令和5年4月からはてらこやの指導員として中心となってボランティア活動をしている。島根大学・県立大学の学生ボランティアを集り、南高生の教員志望の生徒を呼びかけ教育経験の場を作るなど、こどもたちの居場所づくりに貢献するだけでなく、これからの教育を担う世代に対しても場を設ける取り組みをしている。

数十年前からは大庭地区の相談役としても活躍し、消防団員を呼びかけ見守り隊への地震対策講義を実施したり、パソコン教室を開催したりと、実行力のある人物として地域住民から信頼される存在になっている。

松江市市民憲章推進協議会

令和6年度 善行者表彰式

市 民 憲 章

私たちは松江市民です。雄大な日本海、美しい中海と宍道湖、八雲立つ山々にいだかれた松江がだいすきです。

私たちはこのかけがえのない自然を守り、先人のつちかった歴史を誇りとし、住む人に希望と勇気を与えるまちにします。私たちは訪れる人にもてなしの心で接し、新しい松江のまちを築くため、手をとりあって進みます。

一、 青い海と湖、緑あふれる美しい自然のめぐみを大切に、きれいなまちにします。

一、 人の立場を重んじ、すこやかで心にゆとりのある、明るく住みよいまちにします。

一、 礼をつくし勉強にいそしみ、未来にはばたく、希望にみちたまちにします。

一、 はるかな歴史のいとなみと、つちかわれた文化をうけつぎ、心ゆたかなまちにします。

一、 働くことによるこびと誇りをもち、活気がみなぎる、いきいきとしたまちにします。

令和6年5月28日（火）

松江市役所第1常任委員会室



松江市
市民憲章推進協議会